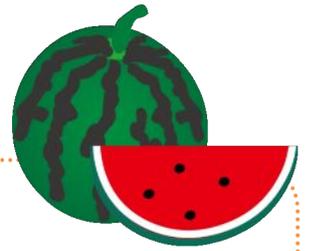


ぽすっと

2015年7月号 NO.223

7月1日発行



今月のトピックス

地域の歴史に親しむ講座

「これでわかる尾張津島天王祭」

日時：7月18日(土) 午後2時～

場所：図書館2階大集会室

* 事前申込不要・無料

講師：黒田剛司氏(天王文化塾頭)

ユネスコ無形文化遺産登録へ向けて各所から注目を集めつつある尾張津島天王祭。天王祭を直前に控えた今回は、祭礼の内容や歴史などについて楽しく学びます。

企画展示

「海部・津島の城跡をめぐる」

* 好評開催中

場所：図書館1階展示コーナー

私たちが住む海部・津島地域にもかつてはお城がありました。しかし、当時をしのぶ遺構や城跡を示す石碑はごくわずかしかなかった。そこで今回は『海部郡誌』の21か所の記述をもとに城跡を実際の場所まで行き、調査しました。各所の城跡から、郷土の歴史を再発見してみましょう。

開館時間の延長と臨時休館のお知らせ

7月25日(土)は天王祭に伴う交通規制のため、**全館臨時休館**いたします。

7月・8月の2ヶ月間、開館時間を**19時まで延長**いたします。

どうぞご利用ください。

9月からは通常通り18時までとなりますので、お気を付けください。



夏祭り

7月25・26日の尾張津島天王祭にちなんで、国内外の祭に関する本をご紹介します。

『日本の祭りと芸能』 諏訪春雄/著 吉川弘文館 386.1 ス

『アンデスの祭り』 すずきともし/著 千早書房 296.8 ス

『祭り旅』 森井禎紹/著 日本写真企画 386.1 モ

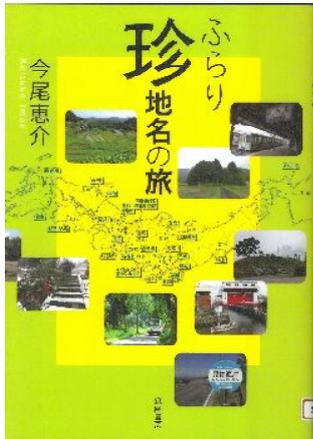
『日本の祭り400』 芳賀日向/監修 辰巳出版 743 ニ

『関東お祭り紀行』 重森洋志/著 無明舎出版 386.1 シ



新 着 図 書

『ふらり珍地名の旅』 今尾恵介 / 著 筑摩書房 291.0 イ



全国には「^{ひるい}昼飯」(岐阜県大垣市)、「^{ほのか}未明」(島根県安来市)などのように珍しい地名があります。これらの珍地名は私たちに強烈なインパクトを与えますが、何故このような地名になったのか由来が気になってしまうものもありますよね。

そんな珍地名のある町や市を訪れ、その様子を記録したものが本書です。実際に訪れてはじめてわかったことなどを著者独特のユーモアある文章で綴り、地名の謎を解き明かしていきます。

ちなみに、愛知県からは前後(豊明市)が登場。その由来はどのようなものなのでしょうか?是非読んで確かめてみてください。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『若冲』 澤田瞳子 / 著 今年生誕300年を迎えた奇才の画家、伊藤若冲。彼の生涯を史実から読み解く。
- 『銀の街から』 沢木耕太郎 / 著 沢木耕太郎が映画について、独自の人生観や思索を交えて語るエッセイ。
- 『中高年のスロトレ決定版』 石井直方 / 著 1日15分!中高年世代のための「スロートレーニング」。
- 『世界のじゃがいも料理』 誠文堂新光社 / 編 じゃがいものルーツをたどりながら、各国の料理を紹介。
- 『図解でよくわかる発酵のきほん』 館博 / 監修 発酵食品、発酵技術など発酵の世界をわかりやすく解説。
- 『春雷』 葉室麟 / 著 財政難に喘ぐ羽根藩。そんな中、黒菱沼の干拓の命が下り…。シリーズ第3弾。
- 『閉店屋五郎』 原宏一 / 著 女性に惚れっぽいバツイチ男、閉店屋・五郎の活躍を描いた人情小説。
- 『レジリエンスとは何か』 枝廣淳子 / 著 「レジリエンス」(しなやかな強さ)の考え方を解説した1冊。
- 『永い言い訳』 西川美和 / 著 妻を事故で失った作家の津村。同じ事故で母親を失った一家と出会い…。
- 『今日をいっしょうけんめいで生きる』 吉沢久子 / 著 97歳の著者が、老いを楽しむ知恵を伝える。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム(「図書館だより」)など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました! キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

25日(土)
(天王祭宵祭のため)

28日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話(0567)25-2145

